

国際園芸家協会（AIPH）博覧会委員会で 進捗報告を行いました

横浜市では、2027年の国際園芸博覧会の開催に向けた取組を進めています。令和元年9月に国際園芸家協会（AIPH）より開催承認を受けたのち、半年に一度AIPH博覧会委員会において取組状況の進捗報告を行っています。

3月16日、オンラインで開催されたAIPH博覧会委員会において、横浜市の進捗報告を行いました。

AIPH 博覧会委員会の概要

開催日時：令和3年3月16日（火） 17:00～22:00（日本時間）

開催方法：オンライン

参加者：国際園芸家協会会員、国際園芸博覧会開催都市関係者等

主な内容：国際園芸博覧会開催都市等が準備の進捗状況等を報告。

A1クラス（最高レベル）の開催都市としては、アルメーレ（オランダ：2022年開催予定）、ドーハ（カタール：2023年開催予定）、横浜市が報告を行いました。

横浜市からの報告

前回（9月）からの進捗として、全国的な機運醸成を担う「2027国際園芸博覧会推進委員会」の設立、推進ロゴマークを活用した広報PR活動、基本計画案の検討状況等について報告を行いました。

報告終了後、持続可能な博覧会の実現に向けての取組について質問があり、自然の機能を取り入れたグリーンインフラや再生可能エネルギー等、環境に配慮した取り組みを導入することや、また、来場者・交通網についての質問では、来場者の見込みと周辺交通整備の状況について回答しました。

横浜市の報告資料については、下のURLをご参照ください。



質疑応答の様子

（報告資料）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/top.files/210316presentation.pdf>

（イメージ動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=UMn3sHGtIEY>



2027 国際園芸博覧会 ～世界の花、横浜で咲かせよう～

国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催します。

メインテーマ：幸せを創る明日の風景

開催期間：2027年3月～9月

開催場所：旧上瀬谷通信施設（旭区・瀬谷区）

◆国際園芸博覧会の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/>

お問合せ先

都市整備局国際園芸博覧会推進課 担当課長 後藤 勝 Tel 045-225-8928